

平成 25 年 1 月 11 日
 学校教育政策課

小学生の保護者の方へ

福井県における併設型中高一貫教育の導入について (お知らせとご意見の募集)

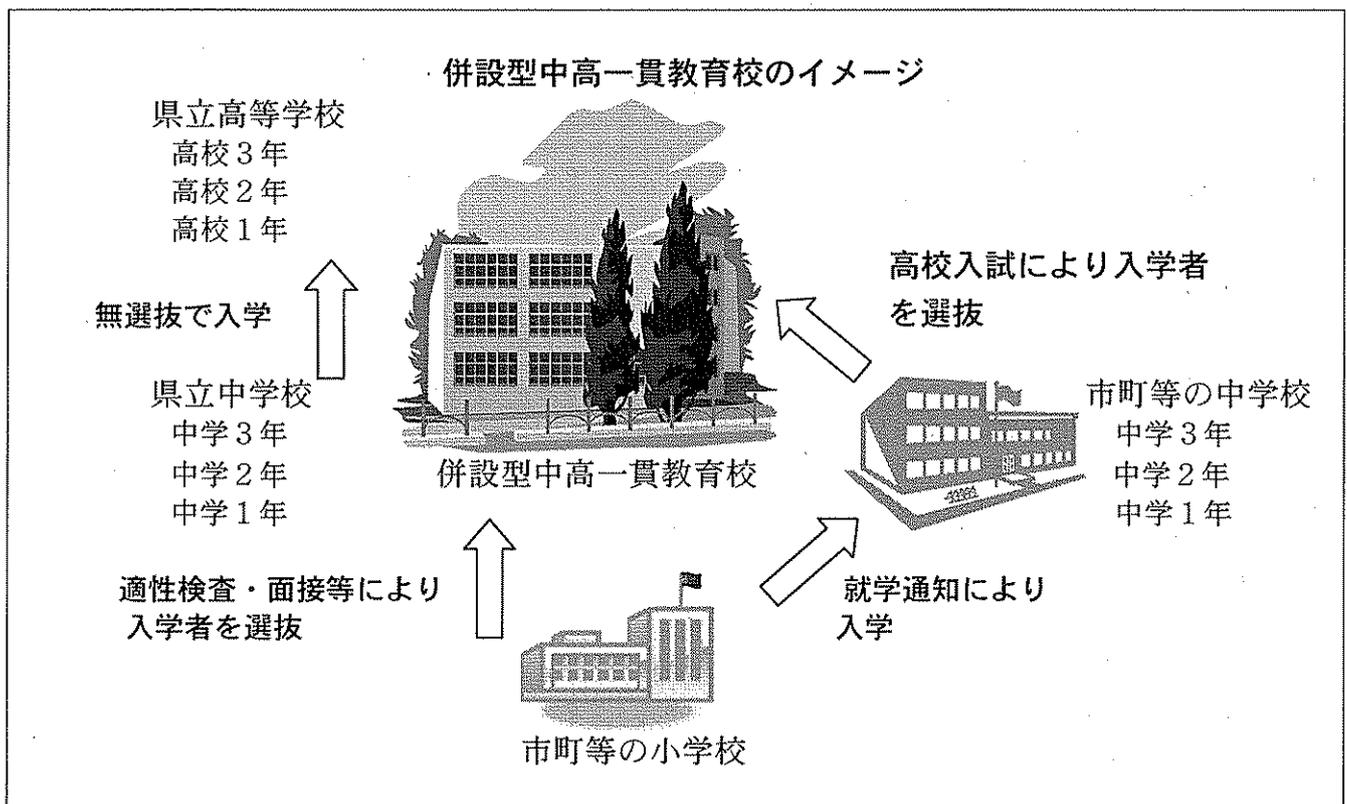
県では、「県立高等学校改革検討委員会」(以下、検討委員会)を設置し、既存の県立高校に県立中学を併設して6年間の一貫した教育を行う併設型中高一貫教育の導入を検討しています。

中高一貫教育は、平成11年度に制度化され、市町の中学校と近くの都道府県立の高校が連携する「連携型」、都道府県立の高校に同じ設置者による中学校を併設する「併設型」、高校での募集を行わず6年間の一貫教育を行う「中等教育学校」の3種類の形態があります。

福井県では、これまであわら地域、朝日地域、三方・美浜地域等で「連携型」の中高一貫教育を実施し、大学進学や部活動等において一定の成果を収めてきましたが、公立の「併設型」の中高一貫教育校はありませんでした。(私立の併設型中高一貫教育校は2校あります。)

併設型中高一貫教育校では、中学校入学段階で適性検査や面接等で入学者を選抜しますが、中学卒業後は無選抜で併設高校に進学できます。

また、高校入試による募集も行うため、中学校から入学した生徒と高校から入学した生徒が、切磋琢磨しながら将来の夢や目標の実現に向けて高校生活を送ります。



全国的には、現在36都府県の74校の公立高校が併設型中高一貫教育を行っています。
併設型中高一貫教育校では、文部科学省が認めた特例を活用し、中学・高校の6年間を見通した弾力的な教育課程を実施することが可能です。

例えば、先行して併設型中高一貫教育を行っている県外の中高一貫教育校では、中学校において高校の内容を一部先取り学習し、高校でも教科書の学習進度を早めて十分な時間をかけて大学進学準備を行うことや、中学・高校の6年間を通して自分の興味あるテーマについて課題研究を行い、論文にまとめたり発表会を開催したりすることなど、様々な特色ある教育が行われています。

県立中学校の設置について、検討委員会では、小・中学生の児童生徒数や生徒の通学の便などを総合的に考慮して、通学区は設けずに1学年当たり概ね100人程度の規模で入学者を募集し、概ね2年～3年後を目途に、普通科を主とする高校に設置するという「中間とりまとめ」を行っています。

「中間とりまとめ」は、県の学校教育政策課のホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gakukyousei/kaikakukentou.html>

今後は、検討委員会での議論を踏まえて県教育委員会において検討をすすめ、今年度中に県立中学校の設置校、募集定員、開校年度等を決定する予定です。

ご意見を募集します！

今後の検討の参考とするため、併設型中高一貫教育の導入について、小学生の保護者の方からのご意見を、下記により募集します。

ご意見がある方は

お住まいの市町名、お子様の学年を記載の上、1月25日（金）までに、メール・FAX等で、下記まで送付してください。様式等は自由です。

送付先	福井県教育庁 学校教育政策課
FAX番号	0776-20-0668
E-Mail	gakukyousei@pref.fukui.lg.jp